

# 安保破棄ニュース

No. 535  
2021. 11. 12

## 安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三  
TEL 〇六一六七六三三三三  
FAX 〇六一六七六三三三三  
Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.anpo-osk.jp>

# 政権交代のための スタートが切られた

総選挙の結果、自民党が過半数を超えて261、公明党32と合わせて与党が293議席を獲得し、野党5党で121議席となったために政権交代となりませんでした。

これを捉えて「野党共闘は失敗だった」と報じるメディアがありますが、それはまったく正しくありません。

2015年に安保法制反対の中で生まれた市民と野党の共闘は、今回の総選挙において全国289の約3/4(74%)、214小選挙区で「共通政策」のもと候補者を一本化してたたかい、自民党の甘利幹事長をはじめ石

原元幹事長、平井元デジタル相等など自民党の有力議員にいくつもの選挙区で勝利するなど、62の選挙区で激戦を勝ち抜きました。また、32の選挙区では当選した自民党候補に1万票未満にまで迫り、大阪16区・10区を含む54の選挙区では惜敗率80%を超える激戦が全国で展開されていたことが報じられています。

さらに確認してみると、福島・新潟・京都・香川・佐賀では候補者の一本化が大きな威力を発揮して過半数の議席を獲得。秋田では自民党の議席独占を崩し、九州でも福岡・熊本・大分・宮崎の4県で自民党の議席独占を崩して27から20へと7議席減らさせました。近畿においても、兵庫では小選挙区として初の議席を獲得、奈良では前回惜敗した自民党候補に勝利して議席独占を崩しています。

これは、確実に政権交代に向けての確実なスタートが切られたことを表すものであり、自公政権を追い詰める原動力が市民と野党の共闘にあることを証明しています。

しかし、大阪では自民党議席はなくなったものの、維新の会の選挙区議席を3から15に増えることを許し、全国でも比例議席を8から25に増やさせてしまいました。

これは、せつかくの市民と野党の共闘の力・魅力を十分に市民に伝えきれず、実際には自公政権による国民不在政治、さらには改憲・軍拡推進の先鋒的役割を果たしているにもかかわらず、「改革」のポーズを前面に出す維新の会の正体を知らせ切れず、自公政権への批判票が維新の会に流れることを許してしまった残念な結果と言わざるを得ません。

ところで、このような結果となった今回の選挙ですが、投票率は比例55・92%と戦後3番目に低い投票率となっており、自民党の

獲得した票は絶対得票率で見れば18・9%に過ぎません。

つまり、「政治は変わらない」と選挙に期待せず、投票に行かなかった多くの国民に、今回の選挙の結果は、決して「野党共闘は失敗だった」というようなものではなく、実はまったく逆に、市民と野党の共闘の力によって「政治は変えられる」ということを証明し、「国民不在の政治」を転換して「国民の声が届く政治」を実現する政権交代へのスタートが切られたことを本気で伝え、選挙権を行使することの魅力を感じて投票に行ってもらえるならば、必ず政治は変わるということを示したのではないのでしょうか。

今回の選挙で自民党は、辺野古新基地建設を「着実に進め」と公約に明記。何が何でも沖縄での小選挙区議席を増やすために公明党とのセット戦術を強化し、あるいは沖縄担当相という「中央とのパイプ」をアピールして「アメとムチ」政策によって企業や首長たちを締め付け、すさまじい組織戦を展開して辺野古のある名護市を含む3区と4区の議席を獲得しましたが、決して「諦めない」粘り強い「オール沖縄」のたたかいによって1区では赤嶺候補が前回よりも票差を広げて勝利し、2区でも新人の新垣候補が勝利して「基地建設反対」の揺るぎない民意を示しています。

総選挙後も「辺野古が唯一」と固執している政府に断念させるためには、来年1月の名護市長選挙、参議院選挙、そして県知事選挙で「オール沖縄」が勝利することが必要です。

11月27日の「2021沖縄連帯集会in大阪」、12月4日の近畿安保合同学習会「名護市長選挙をたたかうにあたって」に参加いただき、共にたたかきましょう。

名護市長選勝利で辺野古新基地建設を断念させよう!

## 2021 沖縄連帯集会in大阪

日時：2021年11月27日(土) 午後1時半から3時

場所：大阪グリーン会館 2階ホール

大阪府大阪市北区天神橋1丁目13-15

地下鉄谷町線・堺筋線「南森町」駅、JR東西線「大阪天満宮」駅下車

天神橋商店街を南へ徒歩250m左に入る。

☆ZOOMアプリを使用してのオンライン参加もできます。

オンライン参加希望の方は、メールでお申し込みください。その際、お名前、連絡のつく電話番号を記載してください。折り返し、ZOOMIDとパスワードをご連絡いたします。

締め切りは、11月24日とさせていただきます。

☆沖縄とオンラインでつないで、3人の方からお話していただきます。

○沖縄の情勢報告：瀬長和男さん(沖縄県統一連事務局長)

あいさつ：稲嶺 進さん(前名護市長・岸本洋平後援会会長)

岸本 洋平さん(名護市会議員・名護市長選挙予定候補) ※依頼中

# 日本平和大会「プレ企画を視聴して」

大阪安保事務局・長谷博之

2021年日本平和大会が11月20日(土)にオンラインで開催されます。それに向けて、かなり豪華なプレ企画がZOOMウェブナーを使用して、全3回で開催されています。登録不要、参加費無料です。その1回目と2回目を視聴しました。

1回目は石川康宏さん(神戸女学院大学教授、日本平和委員会代表理事)による「総選挙結果をどう見るか、平和運動の視点から」でした。まず、今回の選挙結果を分析したうえで、今回の総選挙を通して、「私たちが持つている要求を実現する政治をつくるんだと、要求を政権交代につなげる新しい取り組みが行われました」と語られ、続けて「これを私たちの団体の枠やその周辺を越えて市民にどう伝えていくか」として、「団体方針のオウム返しではなく、自分の言葉で語る事が肝心」だと語られました。そのために、学びの場に加えて、語り合いの場、一人一人が自分の意見を表明できる、表明せざるを得ない場を積み重ねる必要があるとされました。

後半では、平和運動の視点から、現政権が引き続き行おうとしている、軍事一辺倒の対応は極めて危険であること、今必要なのはどうやって平和を作り上げていくのかということをお話し合うことだということをお説得力をもって語ることが大事と話されました。また、改憲の動きに対しては、「平和・くらし・ジェンダー平等・気候危機などを考えた時に、憲法変えないとできないことはどこにあるんだ？むしろ、憲法にそった政治こそ必要ではないか」ということを広げていき、来年の参議院選挙では、引き続き改憲勢力の議席を三分の二未満、さらにもっと減らしていくということが大きな課題になるとされました。

2回目は、馬奈木徹太郎さん(弁護士)による、「土地利用規制法の危険性と止め方」でした。先の国会の最終盤で短い審議時間で強行採決されたこの法律は、政府の説明からしても全く必要性のないものであったということから話されました。この法律によって規制される、もしくは規制する必要があるかを調査する対象は、法律の中でははっきりとされており、今後、国会の意向なしで政令によって定められるとされており、無制限に広がっていく可能性があることを示されました。対象となる施設、地域、人、調査の手法、期間に関してもしほりがなく、また、第3者による密告も推奨する内容となっていることを話されました。

## 諸団体の取り組み、当面の予定など

- 11月
- 13日(土) 日本母親大会 オンライン
  - 17日(水) 近畿安保合同会議 14:00~ オンライン
  - 20日(土) 日本平和大会 10:00~ オンライン
  - 22日(月) 大阪安保23定例宣伝行動 12:00~ 淀屋橋
  - 27日(土) 「2021 沖縄連帯集会 in 大阪」 13:30~  
大阪グリーン会館2階ホール オンラインと併用
- 12月
- 1日(水) 大阪安保常任幹事会 10:00~
  - 4日(土) 近畿安保オンライン学習会 14:00~16:00  
「名護市長選挙をたたかうにあたって」  
※今回、大阪として会場を設ける予定です。定員がありますので、事前に大阪安保までお問い合わせください。
  - 5日(日) 大阪革新懇「講演と文化のつどい」 14:00~  
大阪私学会館4階講堂 ※要予約
  - 18日(土) 大阪憲法会議「憲法大学習会」 14:00~  
此花区民一休ホール オンラインと併用
  - 23日(木) 大阪安保23定例宣伝行動 12:00~ 淀屋橋

近畿安保合同連帯学習会 第5弾

# 名護市長選挙をたたかうにあたって

日時：2021年12月4日(土) 午後2時~4時  
講師：早坂 義郎 さん  
(新基地建設反対名護共同センター事務局長)  
参加費：無料  
☆ZOOMを使用したオンライン学習会です。  
☆安保破棄実行委員会までメールでお申し込みください。  
☆お申し込みの際に、お名前と、連絡のつく電話番号の記載をお願いします。  
☆申し込み締め切りは、12月1日(水)です。  
☆申し込み受付後、ミーティングID、パスワードをご連絡いたします。

世界の宝、辺野古の海を守り、日本を戦争する国にしようとする動きを止めるためにも、大変重要な名護市長選挙がいよいよ来年1月23日投票で行われます。

現市政は、政府追随の態度をとり、辺野古新基地建設を推進しています。今回の選挙で再び、「辺野古に基地はつくらせない」という市政を取り戻すときです。

この学習会で、名護市長選挙をめぐる現状、この選挙の意義を学び、ともに支援の輪を広げましょう。

この法律を実施していくためには地方公共団体を巻き込むことになるので、地域からこの法律をつぶしていく、動かなくしていく取り組みが必要だとされました。そのためには、この法律によってその対象とされた土地の不動産価値は下落することが大いにあることなので、不動産業者との連携を作っていくなど、広範な層に声をかけていくことが必要だと話されました。また、この法律は、特定の国の特定の人たちを敵視することにつながるものなので、国境線を越えた市民同士の連帯を作ることの必要性も話されました。

このプレ企画はいずれも講義が20分間(その後10分間の質疑応答と、短いものですが、かなりわかりやすくまとめられたお話しです。YouTubeの日本平和委員会のチャンネルで視聴できますので、ぜひ視聴してみてください。

第3回目は、11月16日(月)18時30分から(18時10分からZOOM操作案内)、中山歩美さん(日本民主青年同盟副委員長)による「平和につながる青年の意識と行動」です。

このプレ企画も視聴し、11月20日には、「2021年 日本平和大会オンライン」へ、ぜひご参加ください。